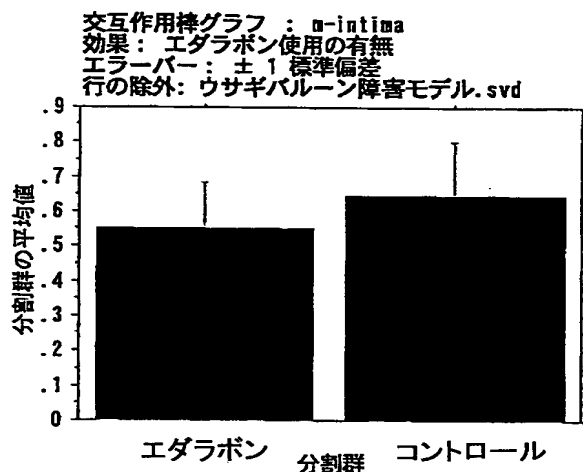
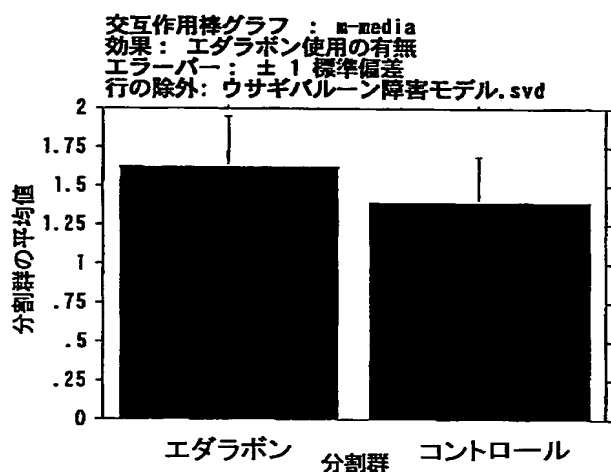


図 1



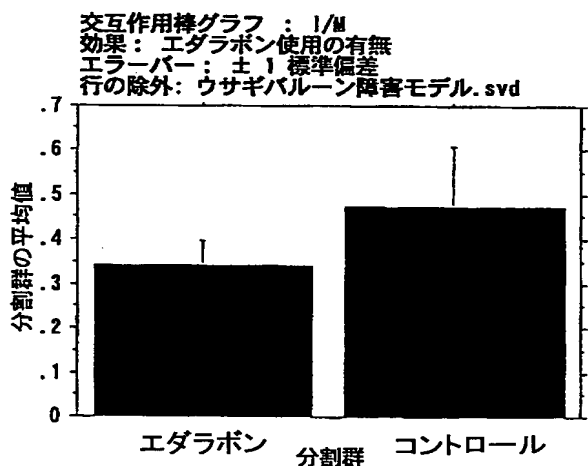
FisherのPLSD : m-intima
 効果 : エダラボン使用の有無
 有意水準 : 5 %
 行の除外: ウサギバルーン障害モデル. svd

	平均値の差	棄却値	p値
y, n	-.092	.148	.2072



FisherのPLSD : m-media
 効果 : エダラボン使用の有無
 有意水準 : 5 %
 行の除外: ウサギバルーン障害モデル. svd

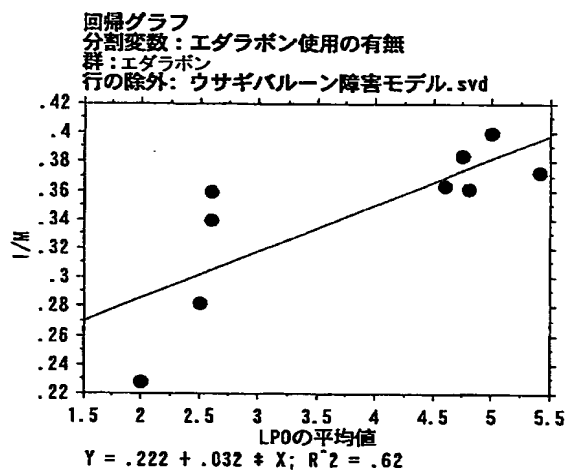
	平均値の差	棄却値	p値
y, n	.226	.321	.1540



FisherのPLSD : I/M
 効果 : エダラボン使用の有無
 有意水準 : 5 %
 行の除外: ウサギバルーン障害モデル. svd

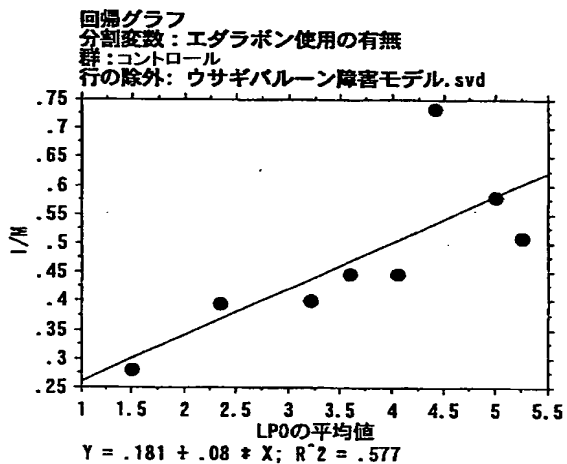
	平均値の差	棄却値	p値
y, n	-.131	.105	.0175 S

図 2



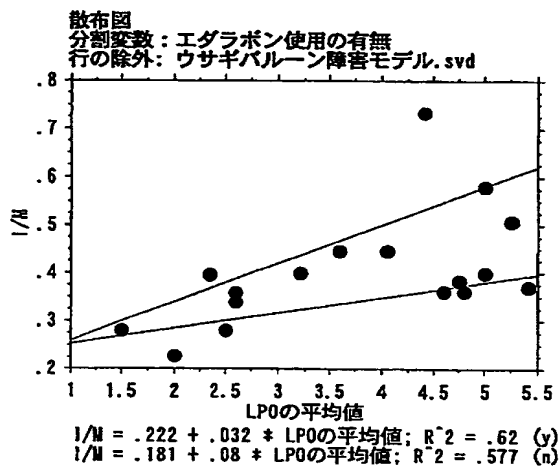
分散分析表
 I/M 対 LP0の平均値
 分割変数：エダラボン使用の有無
 群：y
 行の除外：ウサギバレーン障害モデル.svd

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値
回帰分析	1	.015	.015	11.404	.0118
残差	7	.009	.001		
合計	8	.024			



分散分析表
 I/M 対 LP0の平均値
 分割変数：エダラボン使用の有無
 群：n
 行の除外：ウサギバレーン障害モデル.svd

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値
回帰分析	1	.075	.075	8.175	.0288
残差	6	.055	.009		
合計	7	.129			



● 上:コントロール
 ● 下:エダラボン

図 3

